

久留米

[July 19, 2016]

高専通信

第82号

久留米工業高等専門学校
〒830-8555 久留米市小森野1-1-1
TEL:0942-35-9300
<http://www.kurume-nct.ac.jp/>

新入生への言葉 「初心について」



久留米工業高等専門学校
校長 三川 譲二

初心者に対して語られる言葉に「始めよければ終わりよし」がある。滑り出しが順調であれば、必ず結果はよいものになる。だから最初が肝心という意味である。1年生の時の成績がよければその後もその成績が持続する可能性があるということになる。もちろん、学年が上がればカリキュラム内容も変わり、成績そのものにも変動があるだろうし、1年生の時の成績があまり芳しくなくとも当然挽回はできる。

「鉄は熱いうちに打て」もよく引かれる言葉である。「矯めるなら若木のうち」も同義である。柔軟性のある年頃に鍛えることが大事であるという教えであり、物事を為すには時機を逸してはならないという意味でも使われる。高専の1年生は、比較的色に染まっていない。何事にも柔軟に対応できる年頃である。学習においても、課外活動においても、その各々が持つ真価や面白みを発見し、鍛えられ、磨かれ、その中で、自分の個性を伸ばして行ってほしい。

平成28年度入学式告辞では、佐藤一斎の「一の字、積の字、甚だ畏るべし」をご紹介した。これも心に残る言葉である。佐藤一斎は、江戸後期の儒学者で、吉田松陰や西郷隆盛等にも思想的な影響を与えたと言われている。その主著は『言志四録』。「言志録」「言志後録」「言志晩録」「言志耄録」の4編からなる語録である。そこに記されている佐藤の言葉の1つひとつは、箴言そのもので、道を求めて臨めば必ず応えてくれる教えが鑠められている。あたかも喉の渇きを覚えた時に出会う泉が如くだ、と自分には思える。

「一の字、積の字、甚だ畏るべし」は、『言志後録』中にある。全文は、「一の字、積の字、甚だ畏るべし。善悪の機も初一念に在りて、善悪の熟するも積累の後に在り」(佐藤一斎著・川上正光全訳注『言志四録(二)言志後録』)である。「一の字」とは物事の最初、「積の字」とはその積み重ねを意味している。佐藤は善悪の積み重ねを問題にしており、それはそれで肯綮に中っているが、「善悪」を「学問の成否」に置き換えてみることもで

きと思う。「物事の最初と積み重ねは、畏れなくてはならない。学問の成否のきざしは、学問を始めた時の強い思いにあり、学問が実るか否かは、その思いの積み重ねの結果である」ということになるだろうか。

新入生の諸君は、誰も必ず学業への強い思いを抱いて久留米高専に入学してきたはずだ。その思いを途切らせることなく、日々研鑽と努力を積み重ねることが大切だと思う。その結果、諸君は日本、否世界の未来を担うエンジニアとして、大きく、たくましく成長していくのだと思う。諸君の大成を期待したい。

「初心忘るべからず」も、新人向けの言葉としてよく耳にする。この言葉は、学び始めの初々しい気持ちを忘れてはならないという教えとして理解されているが、中味はそれほど単純ではないようだ。

この言葉の原典は、室町時代に能楽を集大成した世阿弥の『花鏡』である。世阿弥は、この言葉を「当流」の「万能一徳の一句」(あらゆる功德をひとまとめにした金言)として紹介し、続けて、「この句、三箇条の口伝あり。是非の初心忘るべからず。時々初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず」と記し、縷々教えを説いている(小西甚一『日本の思想8世阿弥集』)。

世阿弥は、初心に「是非の」「時々」「老後の」3つがあるという。「是非の」初心とは、批判基準となる初心で、文字通り、未熟な初心時代が含意されている。しかし、初心はその時期に留まらない。その後も時々初心があり、それは老後に至ってもなお変わらないというのだ。さらに、命には「終わり」があるが、芸には「果て」がない。初心を忘れないことは、不断に芸を向上させるための「奥義」であるとさえ言い切っている。

新入生諸君に初心について語ることを通して、現在の自分にも初心があり、なにがしかをやり遂げるためにはそれを忘れてはならないという認識に行き着いた。

新入生の抱負

目標

機械工学科 1年 久保山 徳聖

いろいろな意味で、この学校は面白いと思います。様々な人が、それぞれ特徴的な趣味を持ち、それぞれの夢を掴むため努力しています。「技術者」になり、活躍することを学生共通の目標としていながら、そこにいる人は様々で、バリエーションの豊富さに驚きます。私にとっての久留米高専入学のきっかけも、このことでした。私は将来、自動車関連の技術開発職に就きたいと思い、高専に入学しました。消費者や環境にとって、より良い性能を持った車を創りたい。今はまだ、その夢からずっと離れたところにいます。専門分野を学ぶための下積みの段階なので、そこまで難しい内容は学習していません。しかし、手応えはあまり良くありません。もっと勉強しなければならないと自覚することが多々あります。入学までの日々の努力と決意に比べても、今の努力では足りません。何のためにここに来たのか。この久留米高専で与えられた「学生」の呼び名に恥じぬよう、私は自分に厳しくありたいと思います。入学後すぐの、体育委員、図書委員などの各委員を決める時間で、私は学級委員に立候補しました。偶然立候補者が1人しか居なかったのも、私はこの職務に就きました。今後、多くの行事が開催され、それらには当然、私達1年生も関わります。学級委員は必ずしもクラスのリーダーではないので、行事に関しても、何もかも、私が引っ張るというわけではありません。それ以前に、クラスメートの元気が良過ぎて、私は自分の背中を彼らに押しってもらうのかもしれない。しかし、それでも学級委員はクラスの1ピースとして日頃から皆に貢献しなければならないと感じています。だからこそ、皆に遅れを取ることなく、信頼される存在でなければならない。私は、他の立候補者が居たとしても、簡単に降りるつもりはありませんでした。正式な役職名は「学級委員」となっていますが、今は、級友に「級長」と呼ばれ親しまれることの有り難さを実感しています。クラスメートの期待を裏切ることなく、仕事をこなして行きたいです。与えられた仕事をこなす、この学校で勉強し、その様々な経験を積むことは、私にとって、とても大きな喜びです。特に、この機械工学科の先輩たちの、服も脱ぎたくなくなるほど暑いソウルは私達に数々の刺激を与えてくださります。この素晴らしい環境の中で、わたしは技術者の道を歩んで行きたいと思います。

久留米高専に入学して

電気電子工学科 1年 西嶋 雅也

はじめに私がなぜ久留米高専電気電子工学科に入ろうと思ったのか説明します。私は小さい頃からものを創ったりその構想を練るようなことが好きでした、なので少なくとも大学に入る時点では工学部に入ろうと思っていました。そこへ、親が久留米高専について調べてきてくれました。私は、高校で一般科目をならって大学で進路を決めるよりも早く専門的な知識を持てる高専の仕組みに興味を持ちました。そこで久留米高専の一日体験入学に中学一年生のときに初めて参加させていただきました。まだ、この時点ではどの学科に入りたいとまでは決めていませんでしたが、先輩方が一般の高校生のように大学受験に追われているのではなく楽しそうに専門的な研究を行っていたように感じられたので久留米高専に入りたいと思いました。そのあと自分で調べたり、中学二年生、三年生の時の体験入学などで電気電子工学科がハードウェア、ソフトウェアともに学べることを知り、自分に合っていると思いこの学科に入学しました。

次に高専に入って今までに体験した行事について説明します。まず、最初の行事である夜須研修では、先生や先輩方の引率のもと班やクラスのみなど、オリエンテーリングやレクリエーション、みんなでのご飯で、お互いの好きなことや得意なことがわかり、研修の前と比べ互いを知ることができました。次にクラスマッチで、私たちのクラスはサッカーボール、バスケットボール、バレーボール、長縄、女子はドッジボールに参加しました。私は長縄に出場しましたが、良い成績を取ることはできませんでした。しかし私たちのクラスはバスケットボールで優勝することができました。今は、次の行事である文化部発表会に向けて準備をしています。

最後に久留米高専電気電子工学科に入学して今、感じていることは、授業をしっかりと聞き、家で集中して短時間で復習と次の授業の予習を行えば一般高校と違い自由な時間が多く取れるため、自分の好きなものづくりに当てられる時間が多いため、毎日が充実していると感じます。これからの高専生活でも自分らしく好きなモノを作ったり、友達やクラスのみんなどともいろいろなことを楽しんだり、していきたいと思っています。

新入生の抱負

高専での抱負

制御情報工学科 1年 安永 壮汰

私が久留米高専を知ったのは、中学三年生の夏休みのことだ。まだ明確に志望校を決めておらず、目標も定まっていなかった時に両親が勧めてくれたのがきっかけで、知ることができた。その時まで私は『高専』という学校の存在すら知らなかった。しかし、久留米高専について調べていたり、体験入学をしたりする中で、自分にとって一番合っている学校はこの学校なのではないかと思うようになった。

私が、久留米高専が自分に合っていると考えるようになった理由はいくつかある。一つ目は、技術や情報分野などの専門的なことをたくさん学べることだ。私は子供のころから機械や工学系の先端技術に興味を持っており、その中でも特に情報制御やプログラミングについて深く学んでみたいと日頃から考えていた。久留米高専ではそのような分野について専門的に学ぶことができるということが、この学校を選ぶための大きな理由になった。二つ目は、久留米高専が学生たちの自主性をとても重要視する学校であるということだ。例を挙げると、体育祭や文化祭等の学校行事はすべて学生主体で行われ、先生たちはほとんど関与しない。このような学生に任せた、学生主体の校風に引き付けられた。三つ目は、就職率が非常に高いということだ。久留米高専は就職率が高く、将来自立するために有利な学校であると個人的に考えた。四つ目は、五年間同じメンバーで学び続けることができるということだ。普通の高校では、一年ごとにクラスのメンバーが入れ替わるが、高専は学科ごとでクラス分けがされるので、五年間メンバーを入れ替えることがなく生活できる。この仕組みも自分には合っていると考えた。

高専の受験勉強をするにあたって苦労したことが一つある。それは、学校や塾の勉強との両立だ。学校や塾では主に普通公立高校の対策をするので、高専受験のための勉強はあまり他人に頼らず、自分の力で進めなければならなかった。

高専に入学して二か月ほど過ごして、少しずつ周囲ともうまく馴染めるようになった。ここで気を抜かず、この学校を目指して努力していたころの自分のように意識を高く持って学び続けようと思う。これから五年間、周りの勢いについていけるように努力することで、五年後しっかりと自立した大人になることができると考える。そのためにも、自分のやりたい職業を見つけて目標を定めることから始めていきたい。

久留米高専に入学して

生物応用化学科 1年 古賀 大晴

久留米高専に入学して、あっという間に三か月が経とうとしています。毎日が目まぐるしく過ぎてく中で、これまでいろいろな学校行事を体験させて頂きました。

一番印象に残っているのが夜須研修です。入学後、間もなかったこともあり、正直ほとんどのクラスメイトとしゃべったことが無く、少し不安でした。しかしそんな心配は無用で、意外にすぐに打ち解けることができました。一日目の主な行事としてオリエンテーリングとクラス交流会がありました。オリエンテーリングは地図とコンパスを片手にポイントを見つけるのが大変でしたが、班メンバーと協力し、頑張りました。クラス交流会では、生物応用化学科の先輩方から、専門の先生方や学校行事などについての紹介がありました。また今後、学科での勉強で気を付けるべきことや、体育祭時の応援団のことなど、多方面から説明をして頂き、学校内のことがよく理解できました。5年生の先輩方はとても大人に見えました。二日目は、学科対抗のレクリエーションと校長講話があり、レクリエーションでは様々な競技が行われ、各クラスで競い合いました。生化は三位でまずまずの結果でした。この夜須研修を通して、クラスのみんなとの絆を深めることができ、また高専生として自覚を持つことの大切さを学びました。

五月にはクラスマッチもありました。私は怪我のため、競技には参加できませんでしたが、バレーボール競技ではクラスメイトと協力し、全学年の中で三位に食い込むという快挙を成し遂げ、非常に盛り上がりました。

また課外活動では、私自身バドミントン部に入部し、毎日の練習に励んでいます。クラブに入ったことで他学科の友達だけでなく、たくさんの先輩方とも知り合うことができ、縦・横の繋がりが広がりました。先日初めての定期考査があり、とても不安でしたが、どういう勉強をしたらよいかなど、部活動以外のこともアドバイスしてもらえるので大変助かっています。

高専での学校生活は中学とは異なることが多く、最初は100分授業に慣れず、他にもいろいろなことでカルチャーショックを受けましたが、これらの体験を通して少しずつ久留米高専生として自覚を持てるようになってきたのではないかと思います。校則を含め、いろいろな縛りが無い分、一見自由ではありますが、それに甘えるのではなく、あらゆる場面において自分で考え、自分の責任で行動していく習慣を身に付けていくことが大切だと感じています。

これからの5年間で多くのことを学び、経験し、有意義な毎日を過ごしていこうと思っています。

新入生の抱負

合宿研修を通して

材料工学科 1年 西田 美紅

1年生が初めて取り組む行事が、合宿研修です。入学して1か月も経たないうちに行われることに、私は正直不安を感じていました。なぜなら、高専には優秀な人たちが集まってきます。その人たちはみんなそれぞれ、はっきりとした個性を持っています。学科代表という、大きな役を引き受けたのは良かったものの、個性豊かなクラスをまとめるのは、私には正直荷が重すぎるかも・・・と感じていたからです。

しかし、そんなことはなくて、新しくできた友達が相談に乗ってくれたり、先輩方もアドバイスをくれたり助け船を出していただいたりして、とても安心して出来ました。ありがとうございました。

学科代表としてではなく、一人の学生としてもすごく楽しませてもらった合宿研修でした。1日目のオリエンテーリングでは、迷子になりながらも協力してポイントを集めて、途中で仲間と少しぶつかりながらも、結局は全員でゴールすることが出来ました。学科ごとに行われた学科紹介では、これからの高専生活がすごくワクワクするものになるなぁと感じました。自己紹介の時間では当たり前のことですが、知らないことばかりをみんなから教えてもらって、クラスのことかほんのすこし分かったかなぁと思いました。まだまだこれから時間をかけて、みんなのことをもっと知って仲の良いクラスにしていきたいです。

2日目のクラスマッチは、白熱した戦いで見ているも実際に参加しても、とてもワクワクしました。私が所属する材料工学科は優勝こそはしませんでした、それよりもクラス全体で何かに取り組んだということが楽しかったです。

こんなに楽しかったと思える合宿研修を、最初から最後までお世話していただいた先輩方にはすごく感謝しています。ありがとうございました。私も、先輩方のように責任を持って行動できる人になるために、この高専で勉強はもちろん、学生会活動などにも積極的に取り組んで成長していきたいです。



留学生紹介

留学生紹介

機械工学科 3年 アメー



はじめまして、アメーと申します。インドから参りました。19歳です。今年から久留米工業高等専門学校で留学生として勉強しています。今3年機械工学科の学生です。どうぞ宜しくお願い致します。

私は2015の4月に日本へ来て、東京日本語教育センターで1年間日本語を学んで久留米高専に来ました。高専を卒業して進学するためにいい大学に合格したいと思います。この目的を成し遂げるように一生懸命に頑張ります。

趣味としては映画を見るのが好きです。また、スポーツではクリケットをやるのが好きです。勉強では、子供の頃から数学に非常に興味を持っています。

これまでの高専の生活を先生および友達のおかげで滅茶滅茶楽しんで過ごして、とてもいい経験になりました。今後も宜しくお願い致します。

電気電子工学科 3年
タイワナー

初めまして、モンゴルから来ました留学生のタイワナーです。今年の3月30日の誕生日に東京、その後久留米高専に来ました。久留米高専に来て電気電子工学だけではなく、

自立して暮らすことについてたくさん体験して、身につけています。

私の趣味は音楽を聴くことと映画を見ることです。また読書することも好きです。

初めて外国に来て勉強していますのでわからないことが多かったです。しかし、先生達と同級生達に助けていただいているので感謝しています。

生物応用化学科 3年
アウリキ

初めまして、

私はアウリキ(Aurick)と申します。インドネシアから来た留学生です。私の趣味はスポーツすることです。今年久留米高専に編入し、生物応用化学科に入りました。最初は心配なことがいっぱいありましたが、久留米の人々と同級生が私にいろいろなことを親切にしてくれて、安心しました。本当に嬉しいことです。生物応用化学科の授業がちょっと大変ですが、皆さんと一緒に頑張れば大丈夫そうだと思います。だから、今から卒業まで一緒に頑張らしましょう。

よろしくお祈りします。

新任教職員紹介



小林 美恵子
 所 属 一般科目(文科)
 職 名 教授
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 カリタス女子短期大学准教授

抱 負 これまで東京・神奈川・千葉を拠点に日本文学や文章表現の授業を担当してきました。九州は三度ほど旅行で訪れた経験がある程度で、ほぼ初めての土地といえます。が、久留米や八女という地名は、十代の頃から敬愛してきた五木寛之氏の文章でよく目にしてきたので、その地に身を置く機会を得られたことに感無量の思いしております。小さな女子だけの短期大学から男子の多い大きな高専に移り、戸惑うことも少なくありませんが、構内や周辺の緑の美しさ、学生や教職員の皆様の明るさ温かさに魅了されながら少しずつ馴染めてきているようです。一日も早く様々なことを覚え、お役に立てるようになりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

趣 味 茶道・音楽鑑賞・ドライブ



村上 秀樹
 所 属 電気電子工学科
 職 名 准教授
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 広島大学大学院
 先端物質科学研究科 助教

抱 負 学生時代、前職において、集積回路やディスプレイ応用のための半導体・電子デバイスに関する研究を行ってきました。この経験とそこから得られた知識を最大限活用し、教育・研究において、若い学生諸君の力となれるよう、尽力していきたいと思っています。ご指導ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願いいたします。

趣 味 テニス、ギター。いずれも機会があればやりたいと思っていますが、今はできていないので少し寂しく思っています。



渡邊 悠太
 所 属 機械工学科
 職 名 助教
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 豊橋技術科学大学
 大学院博士後期課程

抱 負 今年の3月に大学院を修了し、新しく久留米高専機械工学科へ赴任することとなりました渡邊です。社会人一年目で右も左もおぼつかない状態ですが、精一杯努めていきたいと思っておりますのでどうかよろしくお願いいたします。私自身、久留米高専ではありませんが高専の出身です。土地が変われば人も変わるということで地域性の差に驚くことも多いですがそこは高専生、その活発さや元気さ、自由人ぶりなどは共通しているようで懐かしく感じています。自身の高専時代を思い出しながら、当時高専教育の中でよいと感じたところ、改善すべきだと感じられたところを踏まえ、学生の皆さんにフィードバックしていければと思います。

趣 味 日曜大工から模型作りまでものづくり全般を趣味としています。最近、新しく家庭菜園にも手をだしバジルとシソを育て始めました。



平尾 耕二
 職 名 事務部長
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 大学共同利用機関法人
 人間文化研究機構本部
 事務局総務課長

抱 負 高専勤務ははじめてですが、微力ながら久留米高専の発展に寄与できればと思っています。がまだします！

趣 味 ゴルフ、スポーツ観戦(特に野球)



遠藤 真一
 所 属 学生課
 職 名 課長
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 有明高専 総務課長

抱 負 3年前まで、熊本高専八代キャンパスで学生課長をやっていたので、学生課は3年ぶりです。早く、久留米高専、また学生課の業務に慣れて、学生のみなさんや先生方のお役に立ちたいと思いますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

趣 味 スポーツ

新任教職員紹介



古賀 哲郎
 所 属 総務課
 職 名 課長補佐
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 九州大学農学部事務長補佐

抱負 本校の教育理念である自立の精神を柱とした創造性、広い視野及び豊かな心を育むことを自分自身に対しても常に意識し、本校が今後50年、更には100年と発展していくよう、国立大学法人等で培った約30年の経験を活かし、微力ながら真剣に取り組んで生く所存ですので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

趣味 温泉旅行



佐藤 範幸
 所 属 総務課総務係
 職 名 係長
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 九州大学理学部庶務係

抱負 九州大学理学部庶務係より平成28年4月1日付けで総務課総務係に着任しました佐藤と申します。大学での経験活かし久留米高専に貢献できればと考えております。着任してわずかで御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

趣味 ランニング、ドライブ



荒川 孝範
 所 属 総務課人事・労務係
 職 名 係長
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 佐賀大学医学部医事課係長
 (医事主担当)

抱負 久留米高専に異動して3か月が経ちました。前任の佐賀大学では病院に関する事務をしていましたが、今度は人事事務ということで畑違いのため、職員の皆さんには御迷惑をお掛けすることが多々あることと思います。できるだけ早く、問い合わせ等にも適切に対応できるよう頑張りたいと思っております。ご指導よろしくお願いいたします。

趣味 映画鑑賞、野球観戦



佐藤 とよみ
 所 属 学生課学生生活支援係
 職 名 係長
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 福岡教育大学附属学校課主査

抱負 久留米高専学生課に赴任して3ヶ月が経ちましたが、あっという間でした。まだまだ不慣れな部分があり、色々とお迷惑をおかけすると思いますが、学生さんが心に残るような学生生活を送れるようにがんばりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

趣味 睡眠



小島 正憲
 所 属 総務課施設係
 職 名 主任
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 鳥取大学医学部施設環境課

抱負 4月に久留米高専へ異動になり、約20年ぶりに故郷・福岡に戻ってきました。今までは医学部及び附属病院施設の保守、修繕、設計等に携わってきましたが、高専では初めての事が多く、戸惑う事ばかりです。1日でも早く高専での仕事に慣れて、何事にも迅速に対応できるよう努力して参りたいと思います。宜しくお願い致します。

趣味 趣味は魚釣りです。3月まで住んでいた米子は日本海が目の前にあり、毎週のように釣りに行っていたのですが、こちらに来て海から遠くなってしまい、あまり行けなくなりました。



永濱 由佳
 所 属 学生課教務係
 職 名 係員
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 地図製作オペレーター

抱負 4月より教務係に採用となりました、永濱と申します。前職とはまったく仕事内容が違う点が多く、至らない面もあると思いますが、職員となった日の気持ちを忘れず、日々仕事に励むつもりでございます。どうかご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

趣味 読書

新任教職員紹介



岡崎 朋広
 所 属 教育研究支援室
 職 名 技術専門職員
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 有明工業高等専門学校
 教育研究技術支援センター

抱 負 簡単なことをわざわざ難しくして伝えるのではなく、また難しいことをさらに難解にするのではなく、簡単なことはそのまま簡単に、難しいことはさらに易しく理解できるように伝えられるようになりたいと思っています。しかしそれを実践するには、日頃から勉学に励まないといけないはずなのですが、なかなか……。

勤務先の高専としては3つ目となりますので、これまでの経験を何らかの形で生かせればと思っています。ロボコンなどの学生主体の活動においても少しずつ関わればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

趣 味 本を読む冊数はすくないですが、本屋さんでいろいろ手に取って見るのは好きです。たまにバイク(原付2種)で山などに走りに行くのはいい気分転換になります。ペーパーレスの時代ですが、できるだけ新聞を読むように心がけております。



今泉 宏啓
 所 属 教育研究支援室
 職 名 技術職員
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 北九州工業高等専門学校
 機械工学科卒業

抱 負 今年の4月に採用になりました今泉です。実習は主に溶接・鍛造を担当しています。ワインレッドの作業着の人です。久留米高専には学生時代に部活動のサッカーの練習試合で1度来たことがあります。まだまだ未熟者ですが先輩方のアドバイスを貰いながら学生と一緒に楽しく実習が出来ればいいなと思います。年齢も学生と近いので実習以外でも気軽に話しかけてもらえると幸いです。少しでも早く先輩方のような技術職員になれるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

趣 味 野球観戦(スピードガンを持つての観戦)、サッカー(ポジションはGK、過去に久留米高専サッカー部と試合有り)、パズドラ(ランク940、好きなキャラクターはバステト)



吉 利 用 之
 所 属 教育研究支援室
 職 名 技術職員
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 呉工業高等専門学校
 技術センター

抱 負 私は、広島県の呉工業高等専門学校で5年間務めた度ご縁があり、教育研究支援室 第三グループに着任しました吉利と申します。主な業務は、材料工学科の実習・卒業研究支援が担当です。一日でも早く皆様に認めて貰えるよう精進いたしますのでご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

趣 味 ドライブ・ボウリング・映画鑑賞



那須 駿平
 所 属 教育研究支援室
 職 名 技術職員
 採用日 平成28年4月1日
 前 職 九州大学工学部卒業

抱 負 材料工学科に配属されました技術職員の那須と申します。材料工学科3、4年生の学生実験を主に担当させていただきます。安全面に気を配り、学生が気持ちよく実験を行っていきける環境づくりを心がけていきたいと思っています。さて、今年も4月に元気の良い新1年生の皆さんが入学されました。私が久留米高専に来て始めに感じたことは、学生の元気が非常にいいことです。また、学生が主体的なものごとに取り組み、教職員の皆さんによって学生がうまくなる環境づくりがなされています。私も学生をサポートする環境の一部となり、自分自身も成長していくことを新年度の抱負とさせていただきます。

趣 味 バドミントン

公開授業

調印式

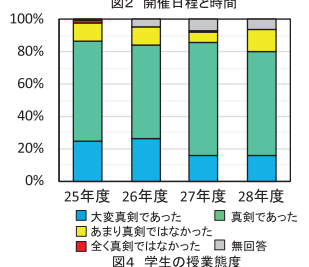
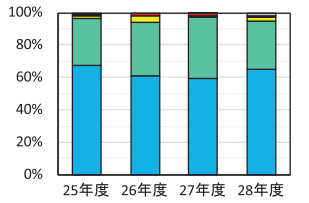
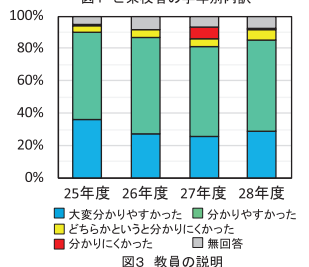
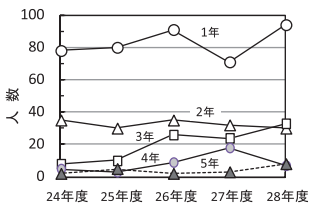
保護者の皆様への公開授業について

教務主事 和泉 直志

保護者の皆様への授業公開を4月18日(月)～20日(水)の3日間実施しました。授業開始が8日(金)でしたので、見て頂いたのは2回目の授業ということになります。この授業公開は平成22年度に始まったもので、アンケート結果や頂戴したご感想・ご意見から本校の教育を点検することを目的にしています。そのために、教員も学生も構えることなく、ありのままを見て頂いております。本年度は有効に時間を使って頂けるよう、安全上の理由でご覧頂けない実験や実習などを明示した時間割を、学生への事前配付に加えて本校Webページに掲載致しました。

ご来校者の学年別内訳を、過去4年間のデータと併せて図1に示しています。各年度の合計は図の下の数字をご覧ください。本年のご来校者は172名で過去最高となりました。学年別では1年生が最も多く、学年が進むにつれて減少しますが、最近では3年生～5年生で少しずつ増える傾向が見られます。多数のご来校ありがとうございました。

ご回答いただいたアンケートは、①実施時期と時間、②教員の説明のわかりやすさ、③学生諸君の授業態度の3項目です。本年度を含む4年間の結果を図2～図4に示しています。まず実施時期については各年度とも「適切」と「ほぼ適切」の合計が90%以上でした。授業のわかりやすさについては、「大変分かりやすかった」と「分かりやすかった」を合わせて各年度とも85%を超えています。また、学生諸君の授業態度についても、「大変真剣であった」と「真剣であった」の合計が80%を超えています。しかしながら、教員の説明については「大変分かりやすかった」と「分かりやすかった」がともに低下傾向にあること、学生諸君の授業態度についても、「大変真剣であった」が減り、「あまり真剣でなかった」が増える傾向にあることに注意していきたいと考えています。



一般社団法人日本歯車工業会と連携・協力に関する協定調印式

去る5月20日、久留米高専は、一般社団法人日本歯車工業会との間で連携・協力に関する協定調印式を行い、協定を締結しました。

調印式は日本歯車工業会が第59回通常総会を前に、久留米高専においてものづくり教育センター見学と講演会を開催するため来校した際に挙行されました。

協定は、久留米高専と日本歯車工業会が歯車産業の振興発展及び工業人材育成に寄与することを目的とし、①歯車技術者の人材育成に関すること、②歯車企業に対する技術支援に関すること、③産学連携交流促進に関することが掲げられており、協定締結により、JGMAギヤカレッジの開催等で結ばれてきた久留米高専と日本歯車工業会との絆がより深まることが期待されます。

協定調印式後、日本歯車工業会のメンバーは、ものづくり教育センターを見学し、JGMAギヤカレッジ企画・運営委員を務める有浦九州大学名誉教授による「大学における歯車工学教育と歯車技術者のレベルアップ」と題した講演会を拝聴後、久留米高専をあとにしました。

なお、この日日本歯車工業会と久留米高専は、早速協定に基づき今後の共同研究の打ち合わせを行ないました。



暴力団排除教育

身近な暴力団

材料工学科1年 高山大希

私は、暴力団排除教育を受けるまで、暴力団に襲われるなんてあるわけがないと考えていました。しかし、話を聞いているとその考えはすぐ変わりました。まず久留米市にも暴力団の組織があることを知りました。自分の住んでいる地域にも暴力団があるため、とても怖いと思いました。また暴力団は見た目では分からないとも聞きました。もしかしたら登下校のときに、気づかずに出会っているのかもしれないと思いました。これから気を付けていきたいと思いました。この先暴力団の被害にあわないためにも夜遊びなどしません。もし被害にあってしまったら、自分だけで解決しようとしないで、すぐに警察に相談するようにします。なぜ暴力団に入っている人たちは、麻薬の密売等の犯罪をしてまで入ろうと思ったのか不思議です。これから暴力団排除教育が広まっていってそのうち暴力団も減っていくと思います。私は少しずついいので暴力団が無くなっていくことを願っています。

ケータイ安全教室

ケータイ安全教室

機械工学科 1年 赤木 俊介

4月20日にケータイ安全教室が実施されました。今回のケータイ安全教室は、株式会社NTTドコモの方が講師として久留米高専に来校され、1年生を対象に行われました。講演の内容は、ケータイを使ったインターネット上でのトラブルやケータイ依存など主にスマホを使用して起こる問題についての話でした。また、熊本地震の影響もあってか、ケータイを活用することの重要性についての話もありました。例えば、ケータイをよく使用していると起こりやすいケータイ依存については、睡眠不足の原因となりやすいので、普段から注意しなければいけないと思いました。勉強時間が減少して成績悪化の原因にもなります。自分でけじめを付けて、節度を持って使用したいと思いました。また、お話の中で特に私が気をつけるべきだと思ったのはインターネットの使用によって起こるトラブルで、個人情報が簡単に流出してしまうことです。私もTwitter上で、久留米高専生のツイートを見ています。この学校に入学して数ヶ月しか経っていませんが、すでにそのようなツイートをしているのを何度か見たことがあります。このようなことが無いように健全にSNSを活用してほしいです。ケータイを使用していると色々な問題に遭遇する可能性があります。しかし、ケータイには便利な面も沢山あります。4月から続いている地震で経験しているように、必要な情報を早く得ることができるため、的確な状況判断ができて、防災にも繋がります。このように、ケータイは使い方によって、悪い影響がでたり、良い効果を発揮したりします。悪い影響を防ぐために、けじめを付けてケータイを使うことが一番重要だと思いました。今回、教室でお話いただいたことを忘れずに、ケータイをうまく活用していきたいと思います。



ビジネスマナー講習会

ビジネスマナー講習会

中央執行委員会 副委員長
材料工学科 4年 古川 慎之介

来る6月15日(水)16時より75分間、本校D4教室にてビジネスマナー講習会を開催しました。これはインターンシップへ行く本科4年生を対象として毎年開催しており、今年で第三回目となります。今回は、昨年や一昨年の事後アンケートを参考に、「服装・身だしなみ」「手紙・メールの書き方」「言葉遣い・行動」「実技指導」の大きく4つの項目について講習を行いました。また講習時間について、事後アンケートで、60分だった一昨年は「短い」、90分だった昨年は「長い」という意見が多かったため、今回は75分に設定しました。

本講習会を開催するにあたり、講師として株式会社魚国総本社九州支社の田川剛様にお越しいただきました。田川様は、75分という限られた時間の中で、上記4つの項目を中心に様々なビジネスマナーを教えていただきました。またインターンシップに向けてということで、企業側から見たインターンシップの狙いや、企業が見ているポイントなどについても教えていただき、多くの学生が熱心に聞き入っていました。講習終了後に実施したアンケートの結果も良く、参加学生にとって有意義な時間になりました。

おかげさまで、参加学生数は、本科4年生の8割を超える176人と大盛況でした。参加した学生は、この講習で学んだことを踏まえて、インターンシップや就職活動に、励むことでしょう。

最後になりましたが、この企画を支えてくださいました学生主事室の先生方、また学生課の方、なにより参加して下さった学生の皆さん、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。



クラスマッチ報告

前期クラスマッチ

中央執行委員会体育局局长
材料工学科4年 松尾 拓海

5月11日から二日間、前期クラスマッチが行われました。今回は、初日が雨天のためグラウンド野球場側の状態が悪く、競技をサッカーからミニサッカーに変更し、テニスコート側のグラウンドに二つコートを作って試合を行いました。ミニサッカーに変更するにあたってルールも変更したのですが、戸惑っている学生も見受けられたので、周知の徹底が必要だと感じました。競技の審判や進行は、各部活動のボランティアの学生と協力して中央執行委員会で行うので、新しく委員会に入った一年生にも活躍してもらいました。二日目の夕方には全ての競技を無事終えることができ、全クラス対抗の競技の結果は、サッカーでは、1位:4E 2位:5A 3位:2E、バレーでは、1位:4S 2位:3C 3位:5Eとなり、同学年どうしで対戦するバスケットボールでは、1年生1位:E 2位:S、2年生1位:A、2位:C、3年生1位:A 2位:M、4年生1位:E 2位:C、5年生1位:E 2位:Aとなり、長縄は、1S、2M、3C、4A、5Aが優勝となりました。また、二日目には女子競技も行われ、女子バレーでは、1位:CHEM DRAW 2位:Bチーム、また、女子ドッジでは、1位:デーモンの落書き 2位:あきみ投げとなりました。競技変更というトラブルはありましたが、けが人もあまり出ず、いいクラスマッチになったと思います。競技における女子ハンドの付け方や、バレーのネットの高さについてなど、いくつかの意見をいただいているので、今回のクラスマッチでの反省点を十分に生かし、後期はより充実したクラスマッチにしたいです。



文化部発表会

文化部発表会

文化部発表会実行委員長
電気電子工学科4年 内田 広夢

文化部発表会実行委員長の内田広夢です。この度は文化部発表会にお越しいただいた皆様、誠にありがとうございました。アサデスのえいさくさんの予報では豪雨とのことでしたが、当日になってみると雨脚も弱く、多くの方が足を運んでくださいました。4月に文化部発表会実行委員会が発足され早3ヶ月、このように大成功を収めることができ本当によかったです。

文化部さんには日ごろの活動を学内のみんなに発表できる数少ない機会ということで、これまでの活動全部を出して、素晴らしい展示・演奏をしていただきました。またイベントのネプリーグではうちの開発担当の者が学生の域を超えたクオリティのものを作ってくれて、本家顔負けの盛り上がり。Let's Check!! Your Common Senseでも豪華景品をかけて感性を競い合いました。

パンフレットでも書きましたが、今年のテーマは～僕だけがいない文化部発表会～です!想像しただけでも悲しくて涙がでてきそうですね。テーマとは違ってみなさんは文化部発表会にいることはできましたか?もちろん見るだけでも楽しいとは思いますが、参加すればまた違った楽しみ方があると思います。こんなに楽しいイベントに参加しないなんてもったいないと思います!!

今回の文化部発表会を成功に収めることができましたのも、関わっていただいた皆様のおかげでございませう。展示をしていただいた各文化部、素晴らしい演奏を届けてくれた軽音楽部・吹奏楽部、各イベントに参加してくれた皆様、各先生方、本当にありがとうございました。11月に開催されます文化祭では今回以上の盛り上がりを見せたいと思っております。今回お越しになった方はもちろん、残念ながら今回は自宅待機だった方も是非参加して、一緒に盛り上がりましょう!!



寮行事報告

寮の行事報告

寮生会広報委員長 山下 大晴

対面式

4月7日(水)の夕食時に、寮食堂にて対面式が開催されました。今年度は筑水寮に27名の男子寮生、つつじ寮に6名の女子寮生を迎え入れました。さらに、3名の留学生を迎え、寮生の総数は179名となりました。寮務主事の石丸先生より、「新入寮生は早く寮生活に慣れ、勉強や部活を頑張って下さい。上級生は新入寮生を温かく迎えてあげてください。」、新寮長の合屋君(機械工学科4年)より、「友達をたくさん作り、楽しい寮生活にしてください。」との挨拶がありました。新入寮生たちは、緊張しつつもこれから始まる寮生活に胸を踊らせ、楽しそうに式に出席しているようでした。

また、今年度の寮務主事室のメンバー(中尾、萩原、龍頭、高橋の各先生方)、新寮生会の役員が紹介されました。



うです。文化委員長の猪口君(電気電子工学科4年)を中心とした運営により、楽しい寮祭となりました。



ヘルスチェックキャンペーン

5月12日(木)11時30分から14時にかけて、寮食堂でヘルスチェックキャンペーンが行われました。多くの寮生(と教職員数名)が参加し、毛細血管や肌の水分の状態を顕微鏡等で観察し、健康状態を診断していただきました。寮生たちには自分の健康状態を知り、普段の生活習慣見直す良い機会となりました。

テーブルマナー講習会

6月12日(日)の13時30分から15時に、寮食堂にてテーブルマナー講習会が開催されました。日ごろから寮食堂で食事を提供して下さっている株式会社魚国総本社九州支社の全面協力のもと、洋食のコース料理におけるテーブルマナーを、実際にコース料理を楽しみながら学びました。講習会にはスーツにネクタイ、または学生服に身を包んだ20名の寮生が参加して、オードブルから始まり、季節のサラダ、魚料理、メイン料理の牛肉の赤ワイン煮、最後にデザートのコース料理を慣れない手つきで楽しんでいました。テーブルマナーについて、普段あまり意識することはありませんでしたが、この講習会を通して参加者たちは正しい知識を得ることができたでしょう。

避難訓練

4月14日(木)の16時40分から、避難訓練が実施されました。今回は地震とそれによる水難が起きたという想定で、避難経路、集合場所、点呼方法の確認を行いました。寮生たちは実際に小森野コミュニティセンターに徒歩で避難しました。その際、消防隊長の樺澤君(材料工学科4年)を中心とした寮生会役員が避難経路と寮生の安全を確かめ、寮生をリードしました。避難命令を伝える寮内放送から30分後には、小森野コミュニティセンターで全員無事に点呼を終えました。



春の寮祭

4月16日(土)に、午後から寮祭が行われました。外国人留学生を含む寮生約170名が参加しました。昼間はサッカーとドッジボールで汗を流し、夕方からのバーベキューでは、寮生同士の交流が行われました。寮生たちはとてもおいしそうにお肉を食べていました。運動や食事を通して寮生たちは交流を深めることができ、新入寮生たちも上級生と交流できたよ

今後の行事予定

筑水寮、つつじ寮では、今後、以下のような行事を予定しています。

行 事 予 定	
10月1日 料理教室	
10月12日	防災訓練
10月16日～10月23日	第3回体験入寮
12月10日	冬の寮祭
12月11日～12月18日	第4回体験入寮
1月11日 成人式	

アジア太平洋情報オリンピック

特別聴講学生

アジア太平洋情報オリンピック
銀メダルの受賞

制御情報工学科3年 前田 南樹

去年の終わりごろから今年の5月にかけて、いくつかの情報オリンピックの大会に参加しました。情報オリンピックとは、プログラミングやアルゴリズムの能力を競う大会です。まず12月に予選が行われ、予選を勝ち抜いた80人が2月につくば市で行われる本選に招待されます。さらに、本選で成績の良かった上位20人がIOI(国際情報オリンピック)の日本代表選手を選抜する合宿である春合宿に招待されます。また、春合宿に招待されると5月に行われるAPIO(アジア太平洋情報オリンピック)への出場権が得られます。APIOは、その名の通りアジア太平洋地域の国々の選手が参加する情報オリンピックです。

予選では、比較的難易度の低い問題が6問出題されます。高専のプログラミングの授業を受ければ2問は解けると思います。予選では6問完答することができたので、本選に招待されました。

本選では、高度な問題が5問出題されます。僕は3問しか解くことができなかったためメダルは獲得できませんでした。九州地区の学校から参加した学生の中で最優秀の成績をとることができたので、地域賞を受賞しました。去年に引き続き地域賞を獲得できて嬉しかったです。また、上位20人の中に入ることができたので、春合宿に招待されました。

春合宿では、競技は4日間にかけて行われ、毎日3問の問題を解きます。春合宿ではあまりの難易度の高さに対応できず、散々な成績でしたが、日本トップクラスの選手たちと過ごした一週間はとても新鮮なものでした。

APIOでは3問の問題が出題されるのですが、春合宿と同等以上の難易度だったため、1問しか解けませんでした。それでも日本人のなかで5位の成績だったようで、銀メダルを獲得することができました。

情報オリンピックには2年生までしか参加できないので、僕はもう参加することができません。高専生活の最初の2年を情報オリンピックのための練習に費やしてきたので、もう参加できないのは少し寂しく思います。日本代表になれなかったのは残念ですが、この大会を通して僕の人生は(いい方向に)おおきく変化していったと確信しています。今後は、まだ参加権のある後輩たちに知識を伝えていきつつ、自分自身もさらに精進していきたいと思っています。

シンガポールとタイからの
特別聴講生の受け入れ

企画主事補 黒木 祥光

現在シンガポールのナンヤン・ポリテクニクから3名、タイのカセサート大学とモンクット王工科大学ラカバンからそれぞれ2名と5名の学生を特別聴講生として受け入れています。タイの大学生は、平成24年度から実施している9高専連携事業の一環として約50日間滞在します。タイの教育制度は日本と同じで、大学3年生から4年生に移る長期休暇を利用して来日しました。ナンヤンの学生は、昨年度本校と結んだ学生交流に関する覚書に沿って初めて受け入れました。本稿では後者についてご紹介します。

まず、ストリーミング制と呼ばれるシンガポールの教育制度について説明します。シンガポールでは、小学4年終了時を皮切りに、小学校卒業時、中学校(4年制)卒業時などに行われる全国統一試験によって、様々な進路を選択していきます。ポリテクニクは3年制の学校で5校あり、中学校卒業時の試験で上位3番目の進路に相当しますが、より下位の進路から入学する、あるいはポリテクニク卒業後に大学に入学する、といった多様な進路が用意されています。先日、THEアジア大学ランキングで東大が1位から7位に順位を下げたことが話題になりましたが、代わって1位になったのがシンガポール大学で、2位の南洋理工大學もシンガポールにあります。シンガポールは東京都23区内に約540万人が住んでいるような状況で、食料品や飲料水までも輸入に頼っています。従って、国防と人材育成を重視し、国家予算の支出では国防費が約29%で1位(徴兵制あり)、教育費が約27%で2位を占めています。教育も効率化が徹底され、大学は研究をするところ、ポリテクニクは企業との共同教育で即戦力の技術者教育を行うところ、と棲み分けができおり、大学進学率は30%程度に留まっています。

ナンヤン・ポリテクニクには工学のほか保健科学やビジネス管理といった学部もあり、学生数は約1.6万人です。今回の3名は新3年で、前期のインターンシップ24週間30単位の半分12週分を学ぶため、本校に来ました。タイの学生も含めた10名は7月20日頃まで本校に滞在し、授業などで交流する機会も設けています。彼らにとっても英語は母語ではなく、会話に苦労を伴いますが、意思の疎通ができた時の喜びは代えがたいものがあります。是補積極的に声を掛けて下さい。(写真:文化発表会にてロボコン部の説明を聞く特別聴講生)



本号掲載記事の無断転載を禁止します